

## 展示品一覧

### ○ 寛政十二年小図「寛政十二年測量自江戸至蝦夷西別小図」 国宝：地図・絵図類 番号 1

この小図は一見すると奥州街道と蝦夷地の東南岸だけの地味な地図ですが、伊能忠敬が第一次蝦夷地測量の成果としてつくった記念すべき最初の実測図です。

地図の右側の余白には「東都以北及蝦夷地北極出地度方位程測量」という表があり測量ルート各地の実測データが記されています。

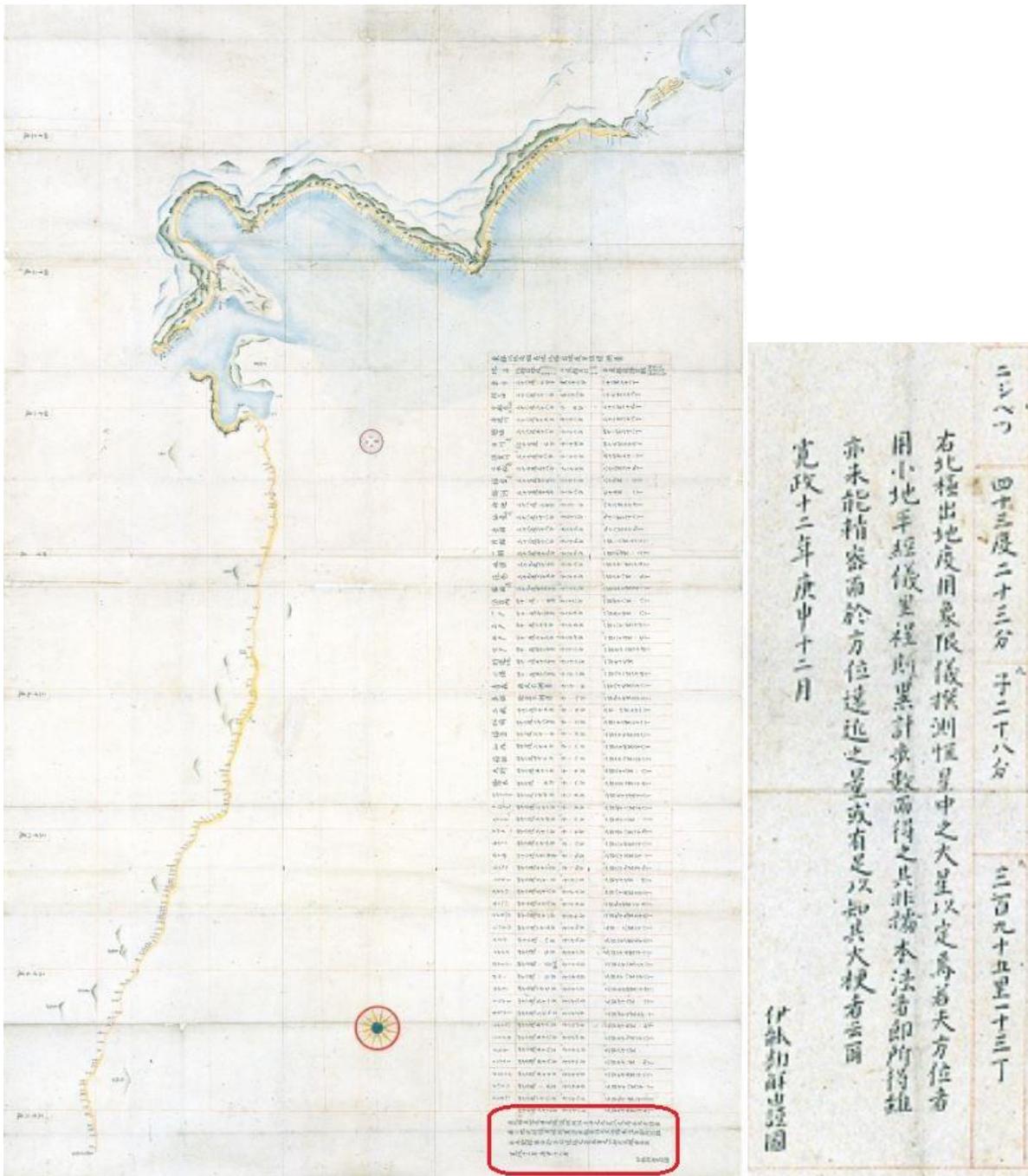
表の最後の「ニシベツ」では

「北極出地度」（緯度）が「四十三度二十三分」、

「自東都方位」（江戸からの方位）が「子二十八分」、

「自東都道路里数」（江戸からの距離）が「三百九十五里一十三丁」とあります。

また青森の北極出地度は「雨天不測量」とあり、実測にこだわりぬいた伊能忠敬の姿勢がうかがえます。



○ 文化元年大図「自江戸歴尾州赴北国到奥州沿海図 第二十七〈自小泊／至蓬田〉」

国宝：地図・絵図類 番号44

津軽半島の先端部が描かれています。蝦夷地を目の前に八日間の風待ちした三厩、断崖絶壁の竜飛岬が確認できます。ただし測線は竜飛岬の手前の上宇鉄までです。第二次測量のときには「此日昼頃より大雪風。平館より母衣月測量、甚難渋に及。」（測量日記の享和元年11月2日）とあります。平館、母衣月も確認できます。

○ 文化元年大図「自江戸歴尾州赴北国到奥州沿海図 第二十八〈自蓬田／歴油川／至矢立峠〉」

国宝：地図・絵図類 番号45

第三次羽越測量の測線が描かれています。秋田県境の矢立峠から青森県に入り、羽州街道を北上して油川で青森湾に至り奥州街道に合流して蓬田までが描かれています。弘前城も確認することが出来ます。弘前城下では当地の対応が「等閑と云うべし」と慨嘆した忠敬でしたが、測量日記（享和2年8月8日～10日）には「岩木山を測。…道の正面に岩木山を見る。…右に岩木山を見る。…岩木山を後にする。」とあるように、岩木山が旅の友のようですが、岩木山はこの大図の範囲外です。

○ 文化元年大図「自江戸至奥州沿海図 第十九〈自野辺地／至油川〉」 国宝：地図・絵図類 番号75

野辺地から夏泊半島をへて青森までが描かれています。青森には港の測量記号が見えます。測量日記（寛政12年5月9日）には「青森過て村々役人出迎、村々塚まで案内」とあります。

○ 文化元年中図「沿海地図（下）蝦夷地」 国宝：地図・絵図類 番号5

第一次蝦夷地測量の松前からニシベツに至る測量の成果が描かれています。縮尺約1/216,000

○ 下図「自クネベツ川至ノマシシリ川下図」 国宝：地図・絵図類 番号247

寛政12年6月1日に忠敬と間宮林蔵が出会った「一の渡」を確認出来ます。現在の地図も置かれており、北海道新幹線の新函館北斗駅のあたりがその場所とのことです。縮尺約1/27,000

○ 測量日記「寛政十二庚申蝦夷干役志 全1」 国宝：文書・記録類 番号69

忠敬と間宮林蔵が出会った当日の測量日記の原本が展示されています。「（寛政十二年）六月朔日朝六ツ後出立。此日朝より七ツ後迄晴天。夜四ツ後より雨、夜半より大雨。四里四町（四里四町四十間と有）内浦嶽の桎、スクノツベという山の間には休所一家あり（此前に大沼、小沼あり）。それより四里（合八里半という）鷲の木村に七ツ半頃に着、止宿。大野村より少し先に一の渡り村有り。村上嶋之丞殿在宅に付見舞。」とあります。

○ 下図「自トウゾリ至箱館下図」 国宝：地図・絵図類 番号248

木古内の東から函館湾の周辺部の寄図になります。ハシクル川から木古内の測線を90度間違えて記載して斜線で消した跡や、朱書きで訂正した測線が明瞭に見て取れます。また、函館は黒と朱の2種類の測線で囲まれており、梵天の位置も異なります。縮尺約1/25,000

○ 下図「自松前至木古内下図」 国宝：地図・絵図類 番号249

松前から東の津軽海峡南岸の寄図で、忠敬が蝦夷地に第一歩をしるした「吉岡」が確認できます。測量日記には「五月十九日 朝より晴天、五ツ半頃風少し宜しよしに付出帆致候処、戌亥の風強なり。箱館へ着船難成趣にて松前領吉岡という所へ昼九ツ後に着。」とあります。現在の地図が展示しており、吉岡の真下に青函トンネルが通っていることがわかります。測量日記の寛政十二年九月十七日には、「福島より一里程行吉岡、それより半里程行吉岡峠（白カミ峠という。海岸白カミ岬なり）、大峠なり。」とあります。会報第78号の表紙をかざったドローンで撮影した写真の場所です。縮尺約1/27,000

○ 下図「自松前至ナカノカワ川下図」 国宝：地図・絵図類 番号246

上記の3鋪の下図を集成して縮小した縮小寄図です。このような縮小寄図をさらに集めて中図がつけられたとのことです。この下図の範囲は国立公文書館の「松前距蝦夷行程測量分図1 函館」よりも南西側の松前町から森町をカバーしています。縮尺約1/170,000